



出会い、つながり、挑戦した4か月間 森中2年生 “くすプロジェクト”

自分の頭でしっかり考え
行動起こしていこう
(4月28日・岩崎恭子さん)

森中学校の2年生(32人)が、アスリートとの交流を経て、ダンススイミングによる「水中パフォーマンス」を披露しました。この取り組みは、玖珠の子もたちがアスリートの生きざまに触れる機会を通して、夢や目標に向かって挑戦していく気持ちを育み、ひいては町全体の元気につなげたいとの思いから、同校卒業生の秦絵莉香さん(明海大学4年)が中心となり企画したものです。秦さんは、この企画を“くすプロジェクト”として大学同窓会に提案。優秀企画として支援金100万円を受け、実現に至りました。

4月から8月にかけて、プロジェクトの趣旨に賛同した3名のアスリートが来町。4月28日に行われた第1弾では、バルセロナ五輪200m平泳ぎ金メダリストの岩崎恭子さんに競技生活やオリンピックの経験などを講演していただきました。

6月8日実施の第2弾では、水中パフォーマンスの第一人者、不破央さんが「夢を実現する力」と題して講演しました。講演に続きダンススイミング教室が行われ、生徒たちは不破さんから基本の動作を学びました。

8月8日、B&G海洋センターで行われた第3弾には、ソウル五輪シンクロナイズドスイミングで、ソロとデュエット二つの銅メダルを獲得した小谷実可子さんによる講演会と、生徒たちによるダンススイミング発表会が行われました。

生徒たちは、不破さんから習った基本をベースに自分たちで振付を考え、この日のために約2か月間練習を重ねてきました。発表会前の練習では小谷さんが演技指導を行い、足の上げ方など、よりきれいに見えるポイントをアドバイスしました。

そして発表会本番。会場へ駆け付けた保護者や関係者など大勢の観客が見守る中、生徒たちは元気いっぱい息の合った演技を披露。会場を大いに沸かせました。生徒たちの演技に続き、小谷さんによるシンクロの演技も披露され、メダリストの華麗な演技に生徒たちは目を輝かせていました。プロジェクトを企画した秦さんは「自分たちの企画が多くの人との縁でここまで実現でき、感謝しています」と笑顔で話してくれました。

常に考え続けることが
夢を叶える第1歩
(6月8日・不破央さん)



夢や目標に向かって目の前のことを
コツコツ努力することが大切
(8月8日・小谷実可子さん)

